

## 第4章 まとめ

### 4-1. 調査結果について

ユーザーの関心が高い国・地域は中国、韓国や台湾であり、ASEAN がそれに続いている。また、法律区分としては特許・実用新案を中心に、意匠や商標も関心が高い。カテゴリとしては法令等の関心が高かったが、統計や出願実務は国により関心の高さに違いが見られた。

既に日本企業が進出している国・地域では特許・実用新案の出願実務の関心が高く、これから進出しようとしている国・地域では商標の出願実務の関心が高くなっている傾向が見られた。

ヒアリング結果からは、各国制度の比較一覧記事や、特殊な手続の記事がほしいという具体的なニーズを知ることができた。また、新興国 DB には JETRO 等の他のウェブサイトのような速報性は求めておらず、蓄積された情報をあとから検索できる今の方向性を維持することを求める声があった。

新興国 DB は特定の国・地域への進出前や出願前に調査を目的として利用されることがわかった。そのため、実務に関連する情報を中心に記事を蓄積していくことが求められていると思われる。

### 4-2. 今後の記事作成について

アクセスログから利用者のニーズを把握・検討し、ニーズの高い国・地域について、記事の作成状況を確認したところ、それらの国・地域の記事は充実していることがわかった。一方で、各国制度の比較一覧記事など、具体的な記事のニーズを把握することもでき、今後はニーズの応えた記事の作成を検討する。

また、直近に作成した記事であっても、内容が古くなっているものがあるという意見もあり、近年作成した記事も更新対象とする必要がある。なお、更新記事を作成した後の更新元の古い記事はその時代の情報として有益なものであり、更新記事と区別して必要なときに参照できるようにすべきものと思われる。

ニーズ調査により、新興国 DB がユーザーにとって有益な情報源であることが確認できた。今後も、記事の拡充、既存記事の更新など、掲載コンテンツの整備を継続する必要がある。